

キャラクター名  
アンソニア

プレイヤー名

シンドローム	バロール ソラリス		ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	時計
	オプション		年齢	不明	性別	不明(人間時女性)
覚醒	生誕	衝動	妄想	初期侵食率	36 %	
出自	人工生命	経験	別離	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	1	0			1	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	4	0	0			4	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
時計の針は遅く		0		0		1+2+3+4
砂は落ちることをやめて		0		0		1+2+3+4+5

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
時の砂時計	
ブラックダイヤモンド	
コネ:UGN幹部	
コネ:情報屋	
応急手当キット	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
亜純血	P	N		
製作者	P 遺志	N 悔悟		
レッドアイ	P 親近感	N 憤懣		
春日恭二	P 感服	N 敵愾心		
藤郷	P 連帯感	N 隔意		
神	P 感服	N 脅威		
キャラル	P 同情	N 不安		

最大財産P: 8    残り財産P: 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
攻撃誘導	3	3	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の自身を含まない相手への攻撃ダイス-lv*2								
扇動の香り	4	5	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: 対象への攻撃ダイス+lv								
灰色の庭	3	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の行動値-lv*3								
甘い芳香	2	4	セットアップ	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果: 対象の行動値-lv*2								
コズミックインフレーション	1	2	セットアップ	-	範囲(選択)	-	ピュア	
効果: 組み合わせたエフェクトを範囲(選択)に								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 判定を行う直前に使用。その判定は失敗となる。								
オリジン:ミネラル	1							
効果:								
ヒューマンズネイバー	1							
効果:								
ディメンジョンゲート	★							
効果:								
時の魔術師	★							
効果:								
魔王の玉座	★							
効果:								
効果:								
効果:								

時計の形をしたレネゲイドビーイング。本体はレネゲイドウィルスに感染した黒い宝石だが、自身を覆う時計としての体もまた自身の一部となっている。5カラット。  
普段は時計の姿だが、ヒューマンズネイバー時には少女の姿を取る。

遙か昔に起きたオーヴァード同士の大战。泥沼となっていく戦況の中、一人の研究者によって生み出された兵器『賢者の石』シリーズの一。時間を操り支援妨害を行うことを目的として開発された。

現在は時計に埋め込まれているものの、大战時には剥き身の宝石の姿で指輪に嵌め込まれて戦場へと臨んでいた。大战が終わるとともに不要とされ、強制的に休眠状態に。同シリーズのリーダー各であったレネゲイドビーイングは遺跡に封印され、他の仲間たちも散り散りとなった。そんな中で彼女は様々な人々の手に渡った後、とある富豪の元、盗難を危惧され何の変哲もない時計の奥深くへと隠される。

その後、富豪は没落。売り払われていく資産の中に彼女の埋め込まれた時計も有った。捨て値同然で売り払われていく資産、何の価値も無いとされた時計は廻り廻って日本のとある市へと辿り着く。

そうしてとある骨董品屋。その隅に置かれ、安価で売られる日々。そんな中で一人の男性が、彼女の埋め込まれた古時計を甚く気に入り購入する。その男こそ春日恭二である。

或る任務でその市を訪れていた春日。潜入先、仮のアジト、一時の我が家。UGNとの戦闘の間、毎日毎日時計を磨き、大切に扱う春日。その一時は彼にとつての数少ない安息の時間だった。

そんなある日。彼は自身のアジトがUGNエージェントに包囲されていることに気付く。後を着けられたか。しかし、焦燥の中で彼が聞いたUGNエージェントの言葉は耳を疑うものだった。

「まさか既に目標の品を手にしていたとはな！ 春日恭二！」

そう。彼の任務は或るRBの強奪。遙か昔に作られたという宝石型のレネゲイド兵器……それをUGNより先に奪取し、FHへと取り込むこと。身に覚えの無い春日。そんな中で雪崩れ込むUGNエージェント。彼らの目が向かう先は、そう。彼女が眠る時計であった。